

平成 2 9 年三重県議会定例会
健康福祉病院常任委員会

説 明 資 料

【 所 管 事 項 説 明 】

	頁
1 三重県病院事業 中期経営計画 平成 2 8 年度の取組成果について	1
2 平成 2 8 年度病院事業決算の概要について	12

平成 2 9 年 6 月 2 2 日
病 院 事 業 庁

1 三重県病院事業 中期経営計画 平成28年度の取組成果について

病院事業庁では、県立病院に求められている役割・機能等を十分に踏まえつつ、国、本県の医療政策の動向や、県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進し、それぞれの県立病院が県民の皆さんに医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、「三重県病院事業 中期経営計画」を策定するとともに、各年度における具体的な取組を掲げる「年度計画」を策定しています。

平成28年度においては、地域医療構想や一志病院のあり方が検討されている状況であったことから、平成25年3月に策定した「三重県病院事業 中期経営計画（平成25年度～平成27年度）」の計画期間を1年間延長して、過去3年間の取組成果や課題等を踏まえた「平成28年度 年度計画」を策定し、病院運営を行いました。

なお、平成29年度以降の新たな中期経営計画については、平成29年3月に策定しています。

≪ 平成28年度の病院別の取組成果 ≫

こころの医療センター

平成28年度の取組方向

平成28年度は、精神科医療における「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という流れの中で、こころの医療センターがこれまで推進してきた病院機能の再編について、アウトリーチサービスとしての訪問看護や、デイケア、作業療法といった日中活動支援などによる地域生活支援をより一層充実させるべく取組を進めます。

また、精神科救急・急性期医療などの政策的医療および精神疾患に悩む若者に対する早期介入・早期支援や、アルコール依存症治療、認知症治療などの高度先進医療にも積極的に取り組みます。

【所管事項説明】

目標と実績

目 標 項 目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目 標	目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
【精神科医療の中核病院としての取組】				
精神科救急患者数	210 人	220 人	230 人	230 人
	221 人	212 人	232 人	211 人
看護実習等受入人数	2,350 人	2,200 人	2,350 人	2,200 人
	2,067 人	2,074 人	2,241 人	1,997 人
人材育成研修開催数 (院内研修センター実施分)	1 回	1 回	2 回	2 回
	1 回	1 回	2 回	2 回
【地域生活支援体制の充実に向けた取組】				
訪問看護件数	3,750 件	4,550 件	5,350 件	5,000 件
	3,751 件	4,537 件	4,837 件	5,154 件
長期入院患者（5年超）退院数	10 件	8 件	6 件	4 件
	7 件	4 件	6 件	2 件
地域精神保健医療体制検討会開催数	1 回	1 回	1 回	2 回
	0 回	設置	1 回	2 回
こころしっとこセミナー件数	21 件	23 件	25 件	28 件
	18 件	25 件	38 件	45 件
【高度・先進医療の取組】				
早期介入対応件数	165 件	195 件	200 件	200 件
	206 件	213 件	213 件	151 件
アルコール病棟入院患者数	32.0 人/日	38.0 人/日	37.0 人/日	37.0 人/日
	35.6 人/日	32.2 人/日	27.4 人/日	27.5 人/日
認知症治療病棟入院患者数	43.0 人/日	44.0 人/日	40.0 人/日	40.0 人/日
	36.7 人/日	38.8 人/日	38.1 人/日	37.3 人/日
重度療養患者治療件数	検討	検討	実施	4 人
	検討	構築	5 人	3 人
【経営の健全化および業務改善に向けた取組】				
経常収支比率	100.7%	105.8%	103.8%	101.0%
	100.1%	102.0%	101.6%	100.8%
外来患者数	262.0 人/日	270.0 人/日	280.0 人/日	280.0 人/日
	253.0 人/日	260.1 人/日	254.8 人/日	253.5 人/日
延べ入院患者数	115,340 人	115,340 人	109,800 人	109,500 人
	107,910 人	102,748 人	101,950 人	103,904 人
医療倫理委員会開催数	1 回	9 回	2 回	2 回
	9 回	1 回	3 回	2 回
医療安全研修参加率	81.5%	83.0%	85.0%	90.0%
	82.4%	90.6%	91.3%	87.0%
患者満足度（※）	82.0%	83.5%	85.0%	89.7%
	71.3%	75.8%	74.9%	87.5%

※H27 年度までは、「当院を親しい友人等へ紹介しますか」という設問に対する肯定的な回答割合により算出していましたが、H28 年度からは、「当院の診療に満足していますか」との設問に対する肯定的な回答割合により算出しています。

平成28年度の取組成果

【精神科医療の中核病院としての取組】

- 三重県精神科救急医療システムの支援病院として、休日・時間外などの救急患者の受入れ（211人）に対応するとともに、自傷・他害のおそれがある場合に実施する措置鑑定診察の要請に対しても、100%（54件）の受入れを行いました。
- 県内の精神科医療水準の向上のため、初期研修医・看護実習生等の受入れ依頼に対して積極的に対応（1,997人）するとともに、院内の医師や看護師等の専門性を向上させる研修を実施しました。

【地域生活支援体制の充実に向けた取組】

- 外来患者の地域生活を支援するため、訪問看護を積極的に推進（5,154件）しました。さらに、日中活動を支援するためのデイケアや作業療法の充実に向け、プログラムの見直しを進めるとともに、効率的・効果的なデイケアを実施するための施設改修（平成29年3月にデイケアステーションとして運用開始）に取り組みました。
- 長期入院患者の地域移行が可能となるよう、市町、障害福祉サービス事業所などの関係機関と連携し、院外のデイサービスの体験利用や就労作業所の体験実習などの支援を進めました。
- 関係機関の多職種が連携し、精神障がい者の地域生活を効果的に支援するため、医療機関や社会福祉協議会、障がい者就労支援団体、作業所、家族会等による「地域精神保健医療体制検討会」（2回）において、各団体の取組や課題について情報共有を行いました。
- 精神障がい者や精神疾患に対する正しい理解を広めるため、教育機関や各種団体等へ講師を派遣して実施する出前講座「こころしっとこセミナー」について、積極的に対応（45件）しました。また、病院と地域住民との交流の場づくりとして「こころしっとこ祭」を院内で開催（参加者約450名）しました。

【高度・先進医療の取組】

- 精神科における「早期発見・早期支援・早期治療」を推進するため、院内に設置している「ユース・メンタルサポートセンターM I E（YMSC-MIE）」の運営を通じて、精神疾患に悩む若者やその家族等に対するきめ細かな支援を行うとともに、教職員や保護者、生徒を対象とした研修会や継続的な連携・情報共有のための会議等を開催しました。
- アルコール依存症治療の専門病棟を有する病院として、充実した治療プログラムを提供しました。また、一般病院で治療を受けているアルコール依存症患者が、当院の専門的な依存症治療を受けられるよう、一般病院との連携に取り組みました。
- 認知症に対しては、専門的医療の提供とともに、家族等からの認知症相談などに対応する「認知症疾患医療センター」として、認知症相談対応（821件）や、保健・医療・

【所管事項説明】

福祉等の関係者を対象とした認知症に関する研修会を開催（参加者約 130 名）しました。

- 統合失調症において、標準的な医療を長期間提供しても改善が認められない患者（重度療養患者）に対して、緊急時に大学附属病院との連携により対応できるよう調整した上で、専門的な治療を提供（3人）しました。

【経営の健全化および業務改善に向けた取組】

- 患者の症状に応じた適切な病床運用を行い、各病棟の機能を効率的に発揮させるとともに、病診連携を推進することなどで医業収益を確保したことにより、経常損益は前年度に引き続き黒字を確保することができました。
- 患者や家族の方々の視点に立った医療を安全に提供するため、医療倫理や医療安全に関する院内研修会を開催するなど、職員の意識・知識の向上等に努めました。
- 患者満足度が向上するよう、接遇研修会を開催するとともに、患者の皆さんの意見等を踏まえ、空調の弾力的な運用やトイレの随時清掃など環境改善を図りました。

平成29年度の主要な取組

平成29年度は、平成29年3月に新たに策定した中期経営計画に基づき、県内の精神科医療における中核病院としての役割を担いながら、適切な入院診療機能を確保するとともに、外来患者に対する地域生活支援の一層の充実を図るなど、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供を通じて、健全な病院運営に努めていきます。

【精神科救急・急性期医療の提供】

- 「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、引き続き、救急患者の受入れに対応するとともに、措置鑑定診察にかかる保健所からの要請に的確に対応していきます。（H29 目標：精神科救急患者受入件数 230 件）

【専門的医療の提供】

- 認知症治療においては、専門外来（もの忘れ外来）や専門病棟（認知症治療病棟）による切れ目のない効果的な治療を提供するとともに、「認知症疾患医療センター」として、家族等からの相談にきめ細かに対応しながら、積極的に普及啓発を進めていきます。（H29 目標：認知症入院患者数 40 人/日）
- アルコール依存症治療においては、引き続き、専門性の高いプログラムを用いた入院治療を提供するとともに、アルコールデイケアサービスの提供や家族等を対象とした研修会の開催などを通じて、断酒の継続を支援していきます。（H29 目標：アルコール依存症入院患者数 30 人/日）
- 精神科早期介入・早期予防においては、引き続き、院内に設置した「ユース・メンタルサポートセンターMIE（YMSC-MIE）」において、若年層やその家族等からの相談に対

【所管事項説明】

応し、必要に応じて院内の若者支援専門外来（YAC）につなげるなど、切れ目のない対応を進めていきます。（H29 目標：精神科早期介入対応件数 200 件）

【地域生活を支えるための支援】

- 平成29年3月に運用を開始したデイケアステーションにおいて、患者の生活能力等向上のための多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供し、患者の日常生活や就労面での支援を行っていきます。（H29 目標：デイケア・ショートケア延べ患者数 18,000 件）
- 多職種や複数の看護師による訪問看護サービスを実施するなど、効果的な手法も取り入れながら、引き続き、訪問看護サービスを提供していきます。（H29 目標：訪問看護延べ患者数 5,000 件）
- 保健所や市町、障害福祉サービス事業所等の関係機関と十分に連携しながら、症状や生活環境等に応じた適切な退院支援により、入院患者の入院期間の長期化を防止していきます。（H29 目標：入院後1年以内の患者退院率 95%）
- さまざまな精神疾患を有する患者の医療ニーズに対応し、地域での安心した生活につなげていくため、他の医療機関や保健所、障害福祉サービス事業所、学校、企業等との連携した取組を積極的に行い、顔の見える関係づくりを推進していきます。（H29 目標：障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 4 件）

【人材育成の充実】

- 院内の受入体制の充実を図りながら、引き続き、多くの研修医や看護実習生等を受け入れていきます。（H29 目標：研修医・看護実習生等受入延べ人数 2,200 人）
- 精神保健指定医や認定看護師等の専門資格の取得を支援・促進するとともに、チーム医療や多職種連携のための幅広い知識の習得や技術の向上に資する研修機会の充実に努めていきます。（H29 目標：人材育成研修回数 5 回）

【業務改善の推進】

- 良質な医療サービスの提供および患者や家族の皆さんの視点に立った病院運営を行うため、「声の箱」や「患者様アンケート」等を通じて、こころの医療センターに対するご意見等を把握・分析し、必要となる取組を検討・推進していくことで、医療サービスや職員の接遇面での対応力の向上を図っていきます。（H29 目標：患者満足度 91.1%）

【経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組】

- 急性期の入院患者に対する手厚い医療の提供や訪問看護・デイケア等による地域生活支援の充実など、多様な医療サービスを提供するとともに、今後の診療報酬改定への的確な対応を通じて、収益増を図っていきます。また、費用の一層の縮減に取り組み、経常収支の黒字の維持をめざしていきます。（H29 目標：経常収支比率 101.3%、医業収支比率 74.7%、1日平均入院患者数 295 人/日、1日平均外来患者数 270 人/日）

【所管事項説明】

一 志 病 院

平成28年度の取組方向

平成28年度は、これまで一志病院が推進してきた「地域に最適な包括的で全人的な医療体制づくり」に必要な多職種連携の取組を定着させるとともに、取組への地域住民の皆さんの参画を推進します。

また、家庭医を中心とした家庭医療を地域の皆さんに提供するとともに、家庭医療に携わる医師、看護師等の人材育成を進めます。

目標と実績

目 標 項 目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目 標	目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
【家庭医を中心とした地域医療の取組】				
家庭医療等外来患者数 (予防医療受診者等を含む)	105.0 人/日	109.0 人/日	113.0 人/日	113.0 人/日
	105.4 人/日	104.7 人/日	103.0 人/日	101.1 人/日
住民健診・がん検診受検者	1,250 人	1,180 人	1,250 人	1,300 人
	1,196 人	1,300 人	1,480 人	1,377 人
訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ テーション等延べ患者数	3,210 人	3,240 人	3,270 人	3,400 人
	3,219 人	3,424 人	3,657 人	4,195 人
へき地診療所への代診医派遣回数	—	—	—	5 回
	—	—	—	4 回
救急患者受入件数	966 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人
	1,065 人	1,182 人	1,308 人	1,348 人
地域に最適な医療の体制づくり 参加機関数	11 者	13 者	15 者	16 者
	11 者	14 者	15 者	16 者
【地域医療を担う人材の教育】				
初期研修医・医学生受入人数	43 人	49 人	49 人	49 人
	48 人	44 人	57 人	68 人
看護実習等受入率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
学会、研修、カンファレンス等の 参加率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
学会発表・論文発表件数	5 件	14 件	20 件	20 件
	20 件	28 件	35 件	36 件
【経営の健全化および業務改善に向けた取組】				
経常収支比率	97.6%	100.0%	100.0%	103.5%
	102.8%	102.5%	103.1%	110.0%
材料費、経費対医業収益比率	54.2%	50.4%	48.5%	46.5%
	48.2%	46.8%	46.3%	42.7%
診療報酬検討会開催回数	12 回	12 回	12 回	12 回
	12 回	12 回	12 回	12 回

【所管事項説明】

目 標 項 目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績
【業務改善に向けた取組】				
夢プロジェクト開催回数	—	—	—	12 回
	—	—	—	12 回
患者満足度 (※)	83.0%	84.0%	85.0%	96.6%
	81.2%	75.0%	83.7%	98.8%

※H27 年度までは、「当院を親しい友人等へ紹介しますか」という設問に対する肯定的な回答割合により算出していましたが、H28 年度からは、「当院の診療に満足していますか」との設問に対する肯定的な回答割合により算出しています。

平成 28 年度の取組成果

【家庭医を中心とした地域医療の取組】

- 家庭医を中心とした全人的な医療サービスとして、病気の治療だけでなく、住民健診やがん検診といった予防医療（1,377 人）、訪問診療や訪問看護といった在宅療養支援（4,195 人）を積極的に提供するとともに、健康教室（11 回）や糖尿病教室（10 回）、出前講座（20 回）を開催しました。また、へき地医療拠点病院として、県内のへき地診療所へ代診医の派遣（4 回）を行いました。
- 初期救急医療を担う医療機関として、24 時間 365 日の救急受入態勢を維持し、白山消防署との救急ホットライン（医師との直通電話）や近隣診療所等との外来ホットライン（看護師長との直通電話）を活用しながら、迅速に多くの救急患者を受入れ（1,348 人）ました。また、白山消防署の救急救命士とともに「三重メディカルラリー 2016」に参加し、救急搬送時の技術向上を図りました。
- 地域の医療・福祉・保健関係者が参画する「美杉・白山保健医療福祉連携会議」の開催や、課題検討会等を通じ多職種連携の体制を強化する「白山・美杉顔の見える会」の取組への支援などにより、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、在宅ケアをテーマとしたシンポジウム「第 3 回 白山・美杉在宅ケア みんなで考えるつどい」を開催し、地域住民の地域医療等に対する意識の向上を図りました。

【地域医療を担う人材の教育】

- 総合診療医（家庭医）育成拠点施設として、初期研修医（9 人）、医学生（59 人）等を積極的に受入れるなど、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を実施しました。
- 地域看護に関心を持つ看護師等を育成するため、看護実習生等の受入れ依頼に積極的に対応しました。
- 三重県プライマリ・ケアセンターと連携し、医療過疎地域等で幅広い看護を実践しているジェネラリストを対象として、プライマリ・ケア エキスパートナース研修会を開催（2 回）しました。

【所管事項説明】

- 院内の「研究やろう会」の開催（12回）等を通じて、研究に対する意欲の醸成に努め、多くの学会等での研究発表や学術雑誌等への論文発表（36件）を行いました。

【経営の健全化および業務改善に向けた取組】

- 入院患者数の増等に伴い、医業収益が増額となったことにより、経常損益は前年度に引き続き黒字を確保することができました。
- 収益の確保を図るため、院内の「診療報酬検討会」の開催（12回）により、請求漏れの防止等に関する情報を共有するとともに、介護報酬上の新たな指導料の加算につなげました。
- 患者満足度が向上するよう、接遇に関する研修会の開催や接遇チェック表を活用した職員の自己点検の取組を進めるとともに、患者の皆さんの意見等を踏まえ、掲示物の充実や待合室の環境改善を行いました。

平成29年度の主要な取組

平成29年度は、平成29年3月に新たに策定した中期経営計画に基づき、プライマリ・ケアを担う医師や看護師等の医療従事者を安定的に確保したうえで、総合診療医（家庭医）を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケアにかかる地域人材の育成など、引き続き、一志病院に求められる役割・機能を果たしていきます。

【地域医療の推進】

- 地域のあらゆる医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、引き続き、訪問診療、訪問看護等の在宅療養支援や住民健診、がん検診等の予防医療を提供していきます。また、へき地医療拠点病院として、県内のへき地診療所への代診医派遣や、平成29年度に津市が新たに設置した診療所（津市家庭医療クリニック）に対する医師派遣を行っていきます。（H29目標：訪問診療、訪問看護等延べ患者数 3,700人、住民健診、人間ドック、がん検診受検者数 1,400人、医療過疎地域等への支援件数 7件）
- 消防機関や診療所等との密接な連携を図りながら、総合診療医を中心とした24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献していきます。（H29目標：救急患者受入件数 1,000件）
- 地域の医療・介護・予防等の多職種による課題検討会「白山美杉・顔の見える会」の取組への支援や自治会のイベント等への参加を通じて、地域内関係者のネットワークの構築を図っていきます。（H29目標：多職種連携による取組件数 30件）

【人材育成の充実】

- 三重大学を中心に取り組んでいる総合診療医の育成に対応する拠点病院として、引き続き、研修医や医学生を積極的に受け入れ、同大学との密接な連携を図りながら実践

【所管事項説明】

的な研修を実施するなど、県内において総合診療医を育成するための中心的な役割を担っていきます。(H29 目標：初期研修医・医学生受入延べ人数 600 人)

- 看護や介護の実習生を積極的に受け入れ、実践的な研修を行うことにより、地域で貢献できる人材の育成に取り組んでいきます。(H29 目標：看護実習生等受入延べ人数 330 人)

【地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進】

- 三重大学等との連携により、プライマリ・ケアや医療人材の育成等に関する研究を推進し、これらのエビデンスの創出・発信を通じて、県内の地域医療提供体制の確保に寄与していきます。(H29 目標：学会、論文等発表件数 30 件)

【プライマリ・ケアセンターへの支援】

- 各地域でプライマリ・ケアを実践できる医療従事者等を育成する「三重県プライマリ・ケアセンター」の機能が十分に発揮されるよう、研修会の開催や人材育成の面から積極的に支援を行っていきます。(H29 目標：プライマリ・ケア研修会開催件数 3 件)

【業務改善の推進】

- 病院のビジョンの実現に向けて院内に設置した「夢プロジェクト」における職員の活動を通じて、プライマリ・ケアの実践や人材育成、経営の健全化など、一志病院のさまざまな取組をさらに充実・改善していきます。(H29 目標：夢プロジェクト開催回数 12 回)
- 「患者様ご意見箱」や「患者様アンケート」等を通じて、一志病院に対するご意見等を把握・分析し、必要となる取組を検討・推進していくことで、医療サービスや職員の接遇面での対応力の向上を図っていきます。(H29 目標：患者満足度 96.6%)

【経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組】

- 予防医療を含めた良質な医療サービスの提供を通じて、入院・外来患者数や健康診断等の受診者数の増および診療単価の向上等による収益の増加を図るとともに、材料費や経費など費用の縮減に努めることにより、経常収支および医業収支の向上を図ります。(H29 目標：経常収支比率 104.2%、医業収支比率 68.1%、1 日平均入院患者数 37 人/日、1 日平均外来患者数 88 人/日)

【所管事項説明】

県立病院課

平成28年度の取組方向

各県立病院がそれぞれの役割および機能を十分に発揮し、県民に良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供できるよう、医師、看護師の確保や各病院の経営改善の支援等に取り組めます。

目標と実績

目 標 項 目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目 標	目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
【人材の確保・育成】				
常勤医師充足率	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%
	84.8%	78.2%	85.3%	79.9%
看護師充足率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%
能力向上にかかる研修参加回数	24 回	27 回	30 回	30 回
	26 回	28 回	36 回	39 回
【戦略的な経営の推進】				
情報提供数	2.0 件/月	2.0 件/月	2.0 件/月	2.0 件/月
	1.1 件/月	2.3 件/月	2.4 件/月	2.7 件/月
【病院の経営面の改善・支援】				
経常収支比率	100.1%	104.4%	102.9%	101.5%
	100.7%	102.1%	101.8%	102.7%
【志摩病院の指定管理者に対する指導・監督等】				
志摩病院 1 日平均入院患者数	218.5 人/日	220.0 人/日	229.5 人/日	245.0 人/日
	206.0 人/日	205.7 人/日	204.1 人/日	222.4 人/日
志摩病院 1 日平均外来患者数	272.6 人/日	312.4 人/日	315.8 人/日	330.3 人/日
	301.9 人/日	307.9 人/日	317.6 人/日	321.6 人/日

平成28年度の取組成果

【人材の確保・育成】

○医師確保については、三重大学等への派遣要請を継続的に行うとともに、看護師確保については、看護師を養成する大学や専門学校等への積極的な訪問、病院独自の就職説明会の開催、合同就職説明会への参加を行いながら、随時募集を実施しました。また、医師や看護師の定着を図るため、学会等研修参加経費の支援や関係図書を整備を行うとともに、子育て支援制度の運用や院内保育所の運営など、医師や看護師にとって働きやすく魅力のある病院をめざした取組を進めました。

【所管事項説明】

【戦略的な経営の推進および病院の経営面の改善・支援】

○戦略的な経営を推進するため、病院事業庁長と各県立病院長（志摩病院を除く）等で構成する「病院事業庁経営会議」等を通じて、各病院の運営状況を的確に把握・分析し、企画提案を行うとともに、国、県の医療政策の動向等の情報を収集し、病院に提供しました。

【志摩病院の指定管理者に対する指導・監督等】

○志摩病院のさらなる診療体制の回復に向け、病院運営に関する事項を協議するため、病院事業庁と指定管理者（公益社団法人 地域医療振興協会）の代表者等で構成する「志摩病院管理運営協議会」や毎月の業務報告書の聴き取り等を通じて、運営状況を詳細に把握し、課題等について協議・調整を行いました。また、志摩病院の医師を確保するため、病院事業庁と指定管理者が合同で三重大学に対する派遣要請を実施しました。さらに、志摩病院の運営状況の周知や地域の皆さんの意見等を病院運営に反映することを目的に、「県立志摩病院運営状況報告会」を開催しました。

平成29年度の主要な取組

平成29年度は、平成29年3月に新たに策定した中期経営計画に基づき、それぞれの病院が求められる役割・機能を担っていけるよう、医師・看護師等の医療従事者を安定的に確保するとともに、経営面の強化を図るための支援を行っていきます。

【人材の育成・確保】

○医師や看護師を確保するため、引き続き、研修環境の充実や働きやすい職場づくりなど、医師や看護師にとって魅力のある病院をめざした取組を行うとともに、大学や養成機関等への積極的なPRを進めていきます。（H29 目標：医師充足率 100%、看護師充足率 100%）

【経常収支等の向上に向けた支援】

○病院事業庁内の各種会議等を通じて、病院の運営状況を適切に把握・分析するとともに、国・県の医療政策の動向や病院運営にかかる先進的な取組、医療と密接に関連する保健・福祉に関する情報等を積極的に収集・提供するなど、それぞれの病院運営を支援していきます。（H29 目標：経常収支比率 101.9%、医業収支比率 71.4%）

【志摩病院の指定管理者に対する指導・監督等】

○志摩病院の診療体制のさらなる回復および経営改善が着実に図られるよう、引き続き、「志摩病院管理運営協議会」や毎月の業務報告書の聴き取り等を通じて、運営状況を常に把握し、適切な連携および指導・監督を行っていきます。（H29 目標：1日平均入院患者数 237人/日、1日平均外来患者数 335人/日、1か月平均救急患者数 523人/日、経常収支比率 100%）

【所管事項説明】

2 平成28年度病院事業決算の概要について

こころの医療センター、一志病院および指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院の管理・運営を行った平成28年度の病院事業の決算は、収益的収支の経常損益について、1億1,200万円の黒字となりました。

なお、収益的収支および資本的収支の全体概要等については、次のとおりです。

(1) - 1 収益的収支

(単位:百万円、%)

	H27年度	H28年度	H28-H27	前年度比
① 病院事業収益 (A+B+C)	5,468	5,504	36	100.7
医業収益 A	2,808	2,847	39	101.4
入院収益	2,189	2,183	△ 6	99.7
外来収益	513	521	8	101.6
その他医業収益	106	143	37	135.3
医業外収益 B	2,618	2,657	39	101.5
うち長期前受金戻入	253	243	△ 11	95.8
うち一般会計繰入金	2,088	2,128	40	101.9
特別利益 C	42	—	△ 42	—
② 病院事業費用 (D+E+F)	5,393	5,392	△ 1	100.0
医業費用 D	5,087	5,132	46	100.9
うち給与費	2,699	2,741	42	101.5
うち材料費	247	254	8	103.1
うち経費	1,504	1,537	33	102.2
うち減価償却費	611	569	△ 43	93.0
医業外費用 E	267	260	△ 7	97.4
うち支払利息	145	132	△ 13	91.0
特別損失 F	40	—	△ 40	—
③ 経常損益 (A+B) - (D+E)	72	112	40	154.8
④ 純損益 (① - ②)	75	112	37	149.1

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

【所管事項説明】

(1) - 2 経常損益の病院別内訳

(単位：百万円、%)

	H27 年度	H28 年度	H28-H27	前年度比
こころの医療センター	50	26	△ 24	51.4
一志病院	27	88	61	321.7
志摩病院	△ 5	△ 2	3	—
合 計	72	112	40	154.8

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

(1) - 3 患者数の状況

(単位：人/日、%)

	入院 (1日平均)				外来 (1日平均)			
	H27	H28	H28-H27	前年度比	H27	H28	H28-H27	前年度比
こころの医療センター	278.6	284.7	6.1	102.2	254.8	253.5	△ 1.3	99.5
一志病院	36.1	38.1	2.0	105.6	87.5	85.1	△ 2.4	97.3
志摩病院	204.1	222.4	18.3	109.0	317.6	321.6	4.0	101.3
うち一般病床、一般外来	115.8	131.6	15.8	113.6	280.3	282.4	2.1	100.7
合 計	518.7	545.2	26.5	105.1	659.9	660.3	0.4	100.1

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

(2) 資本的収支

(単位：百万円、%)

	H27 年度	H28 年度	H28-H27	前年度比
① 資本的収入	1,442	1,455	13	100.9
企業債	310	355	45	114.4
国庫補助金	9	—	△ 9	—
県費負担金	749	750	1	100.2
その他	24	—	△ 24	—
短期貸付金返還金	350	350	—	100.0
② 資本的支出	1,821	1,909	88	104.8
病院増改築工事費	152	219	67	144.0
資産購入費	175	180	5	102.9
企業債償還金	1,119	1,070	△ 49	95.6
長期貸付金	1	1	—	100.0
長期借入金償還金	25	90	65	360.0
短期貸付金	350	350	—	100.0
資本的収支(① - ②)	△ 379	△ 455	△ 75	—

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。